

第35回

浜松コンファレンス

「新しい文化論」

人類の知らないこと、できないことはまだ無限に存在しています



講演

「量子力学に残された
100年の謎に迫る」自然科学研究機構 分子科学研究所
研究主幹・教授

大森 賢治

ピアノ
宮野 寛子ベース
コモブチ キイチロウ

演奏

宮野 寛子

共演

コモブチ キイチロウ

- 真夏の果実(サザンオールスターズ)
- ディサフィナード
- 他



ご挨拶

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長
浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長

晝馬 明

2018.11.3  文化の日会場: アクトシティ浜松 中ホール
時間: 13:30~17:00 (開場13:00)

定員: 1,000名 (先着順)

入場無料

※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。
※事前のお申し込みが必要です。

お申し込みはWebで



〈QRコードから〉

スマートフォン、タブレットから
お申し込みページにアクセス。
<https://www.refost-hq.jp/hcr>

もしくは

〈Webサイトトップから〉

光科学技術研究振興財団Webサイトの
トップページからアクセス。
<https://www.refost-hq.jp/>

光財団

検索

お問合せ

※ご不明な点は下記までお問合せください。

公益財団法人 光科学技術研究振興財団
浜松コンファレンス実行委員会
TEL: 053-458-0008

講演

「量子力学に残された100年の謎に迫る」



おお もり けん じ
大森 賢治

自然科学研究機構 分子科学研究所 研究主幹・教授

電子や原子などミクロな粒子の「波の性質」に基づくある種の曖昧さ（同時に異なった複数の状態を取れる性質）を活用した「量子科学技術」が材料開発、創薬、情報セキュリティ、人工知能、流通などに革命を起こし得るとして注目されています。このような動きは「第2量子革命」と呼ばれ、米国、EU、英国、中国などで年間100億円から200億円にも及ぶ莫大な投資が進んでいます。日本の文部科学省においても、量子科学技術に関する政策課題を議論する量子科学技術委員会が2015年6月に発足しました。一方、量子科学技術の根本にある量子力学が確立されてほぼ100年が経とうとしています。実は量子力学には未だに解決されていない最大の謎の一つ残されているのです。「物質が波に見えるミクロな量子力学の世界と、粒子に見える巨視的な世界の境目はどう繋がっているのだろうか？」量子科学技術の実用化はこの謎の解明無しにはあり得ません。本講演では、この100年の謎について、世界各国の量子科学技術政策の動向を交えながら解説します。

【プロフィール】

自然科学研究機構分子科学研究所教授・研究主幹。専門は量子物理学・物理化学。1987年 東京大学卒、1992年 同大学院工学系研究科博士課程修了、工学博士。東北大学助手・助教授を経て2003年9月より現職。2012年より独ハイデルベルグ大学客員教授（フンボルト賞受賞者）。2014 - 2016年 仏ストラスブール大学客員教授。2007年 日本学士院学術奨励賞、同年日本学術振興会賞、2009年 アメリカ物理学会フェロー表彰、2012年 ドイツ連邦共和国・フンボルト賞、2017年 松尾財団宅間宏記念学術賞、2018年 文部科学大臣表彰科学技術賞他、受賞多数。光と物質の相互作用をアト秒精度で観測・制御する技術や、時空間における分子の振る舞いをフェムト秒ピコメートルの精度で可視化する技術で、世界的に知られる。

演奏

真夏の果実(サザンオールスターズ)、ディサフィナード 他

※演奏曲目は変更になる場合があります。



みや の ひろ こ
ピアノ 宮野寛子

【プロフィール】

千葉、東京、北海道、バンコクそして静岡で育つ。ピアニストおよび作曲家として、都内のライブハウスをベースに、日常から着想を得たオリジナル楽曲を中心に活動している。そのサウンドはジャンルに捉われず幅広く、ブラジリアン・ジャズグループをはじめ多くのミュージシャンとのコラボレーションを通して、ライブやレコーディングで独自の音楽世界観を表現している。

2008年10月、1st CD 「Precious Moments」をリリース。2011年10月、自身初のメジャーデビューとなる2nd CD 「Notes Of Comfort」をポニーキャニオンより、2014年8月、3rd CD 「Ocean」をビクターエンタテインメントより発売。そのほかアニメーション番組、テレビCMの作曲、FM番組のパーソナリティとして活躍。独自のサウンドはラジオやテレビを通して数々の賞賛を受けている。



ベース コモブチ キイチロウ

【プロフィール】

1966年東京生まれ。香港にて幼少期を過ごす。音楽好きの家庭に育ち、15歳でチョッパーベースのルイスジョンソンの演奏に感動しベースを始める。当時は母のクラシックギターの弦を4本にして叩いていた。川端民生氏、ジョージ大塚氏に師事。ビットインなどのジャズライブハウスを中心にセッション活動を開始。90年代中頃からブラジル音楽の豊かさに吸い込まれるように傾倒するようになる。ボサノヴァ黄金期の一人、ロベルト・メネスカルとの出会いを機に'97年に開催されたボサノヴァ生誕40周年コンサート「Gets Bossa Nova」に多くのブラジルアーティストと共に出演。その後ワンダ・サー、カルロス・リラ、ドリ・カイミ、ミュシャ、フィロー・マシャードなどの来日公演をサポートする。現在サンバの力強いグループを信条に掲げ、ジャズ、フュージョン、ラテン、R&B、ソウル、ポップス、フラメンコなど様々なバンドでも活動を展開している。国内では渡辺貞夫、渡辺香津美、カルロス管野、マリリン、渡辺真知子、CHAKA、玉置浩二、小野リサ、古澤巖、クリヤマコト、島健、島田歌穂、柏木弘樹、東儀秀樹、アンサリー 瀬木貴将、河口恭吾など数多くのライブ、ツアー、レコーディングに参加している。現在オリジナルリーダーバンドの活動としてヴォーカルのCHAKAとデュオユニット「コチヂャン」を結成、歌とベースだけのシンプルな世界に挑戦している。また、11年からフランシス・シルヴァ(Per)、小畑和彦(G)とブラジリアントリオ「BAT COM FRAN」を結成し全国への活動を予定している。



ご挨拶

ひる ま あきら
晝馬 明

公益財団法人 光科学技術研究振興財団 理事長
浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長

2018.11.3 土
文化の日

会場: アクティシティ浜松 中ホール
時間: 13:30~17:00 (開場13:00)